

長 生



平成27年 7 月 号

目 次

会長の言葉	日本長生医学会会長	柴 田 政 宏	
宗 教 編			
法 話	得勝寺	本 莊 一 治	1
医 学 編			
マッサージが身体に及ぼす影響について	元 つくば国際大学医療保健学部 教授		
長生学園 講師	星 虎 男		3
長期入院時の下痢： クロストリジウム・ディフィシル関連腸炎（偽膜性腸炎）	昭和大学医学部臨床病理学 教授		
長生学園 講師	福 地 邦 彦		8
長生医学編			
最もホットな先端医学	北海道連合会	大 村 和 彦	10
随 想 編			
日本三景・天橋立の魅力②	京 都 府	岡 崎 誠 次	13
日本長生医学会東北連合会に出席して	山 形 県	志 賀 啓 二	15
東北連合会医学会に参加して	山 形 県	門 脇 靖 子	18
長生知恵袋			19
長生治療院検索サイトのお知らせ		総 務 部	20
報 告			
第46回 東海支部医学会報告	愛 知 県	山 田 知 孝	21
第29回 長生テニス大会報告			22
学 園 便 り			24

日 本 長 生 医 学 会

会長の言葉

総本山長生寺管長
日本長生医学会会長 柴田政宏

アジサイの花の見ごろを迎え、季節の移り変わりの速さに戸惑ってしまう毎日です。

長生医学会地方研修会も、東北連合会を皮切りに、東海支部、北信越連合会、北海道連合会と本年度前半の研修会に、出席させて頂きました。その折々に先輩の先生方が、「己の高慢さに気付かされハットする事がしばしばある」と、治療の難しさを話しておられました。[邪見驕慢悪衆生じやくけんまうまんあくしゆじゆう]と説法をなさる長生上人のお声を聞いた思いでした。

又、三世管長正義先生も診断の重要性について、次のように述べておられます。

*この疾患は、必ず治す事が出来る。

*この疾患は治せるが、経過によっては治療を中断しなければならない。

*この疾患は、治療が出来ない。

さらに、治療に携わる者が「私が治してやった」という思いを持つと、治療をさせて頂く奉仕の心を失い、長生上人の説かれる邪見驕慢に陥りやすいと指導して下さいました。

私共は毎日の治療の中で、ついつい慢心が出てしまいがちです。患者さんの状態は日々変化していきます。前回は大丈夫だから今回も大丈夫と言えるのでしょうか？

患者さんの「痛む」の一言にも、どのように痛むのか。例えば疝痛なのか、鈍痛なのか。また、しびれは感じているのか、歩き方、身体の柔軟性などから、どの様な治療を施せばよいのか、判断して行かなくてはなりません。

慢心こそが、事故に繋がるのです。些細なミスでも、人によっては人生を狂わせる出来事になりかねないことを、忘れてはならないのです。

人と人のコミュニケーション、信頼感失くして真の治療は行えません。私共治療師は、患者さんの声に素直な心で、耳を傾け、よく話し合い、集中して治療させて頂く事が大切なのです。

合 掌